

# 都市を歴史から考える

建築史のなかの都市史という分野は、都市の空間形成の過程と論理を史料にもとづいて考える学問です。都市史を学ぶことの意義は何か、また研究はどのように進めるのか、近著『明暦の大火』を例にとりながらお話しします。

## 2022 MARF 講演会

講師：岩本 馨

岩本 馨

IWAMOTO, Kaoru

京都大学大学院准教授



日時：2022年10月6日（木）

14:00～16:00

会場：東京都立大学 11号館 204教室

### 略歴

1978年北九州市生まれ、相模原市育ち。

2000年東京大学工学部建築学科卒業、2006年同大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士（工学）。京都工芸繊維大学を経て2022年より京都大学工学研究科建築学専攻准教授。専門は日本都市史・空間史。著書に『近世都市空間の関係構造』（吉川弘文館、2008年）、『江戸の政権交代と武家屋敷』（同、2012年）、『明暦の大火』（同、2021年）など。

### 新型コロナウイルス感染予防のお願い

- 発熱、咳などの症状がある場合は、体調を最優先いただき、ご来場を控えていただきますようお願いいたします。
- 会場内では必ずマスクを着用してください。
- 手洗いや咳エチケットなどのご協力をお願いいたします。
- 入退室時のソーシャルディスタンスの確保など、感染予防および拡散防止に可能な限りご配慮ください。
- 会場内では、前後左右に1席ずつ間隔をあけての着席のご協力をお願いいたします。

### ■主催者

MARF Metropolitan University  
Architectural  
Research  
Forum  
東京都立大学建築研究会

### ■連絡先

木下央 042-677-1111（内線4763）